

第4回 横浜市西区地区センター及び横浜市西公会堂指定管理者選定委員会 議事録	
日 時	平成27年8月25日(火) 9時15分～14時10分
開 催 場 所	西区役所3階研究室
出 席 者	<p>【選定委員】</p> <p>中西 正彦(委員長)、井手 美由樹、酒井 俊夫、菜花 好和、米岡 美智枝</p> <p>【事務局】</p> <p>早川地域振興課長、立川担当係長、相澤担当職員、後澤担当職員</p>
欠 席 者	なし
開 催 形 態	一部公開(傍聴者1人) ※プレゼンテーション終了後の質疑以降は非公開
議 題	<p>1 西地区センター及び西公会堂について</p> <p>(1) 面接審査について</p> <p>(2) 指定候補者の選定について</p> <p>2 藤棚地区センターについて</p> <p>(1) 面接審査について</p> <p>(2) 指定候補者の選定について</p>
決 定 事 項	<p>次の団体を指定候補者、次点候補者として選定した。</p> <p>1 西地区センター及び西公会堂</p> <p>【指定候補者】アクティオ株式会社</p> <p>【次点候補者】西区区民利用施設協会・相鉄企業共同事業体</p> <p>2 藤棚地区センター</p> <p>【指定候補者】一般社団法人西区区民利用施設協会</p> <p>この結果を西区長に報告する。</p>
議 事	<p>(事務局) 第1回選定委員会の際の決定事項に基づき、プレゼンテーション後の質疑、指定候補者の選定については非公開とすることを確認。</p> <p>1 西地区センター及び西公会堂について</p> <p>(1) 面接審査について</p> <p>(事務局) 公募状況(応募団体数:2)、公募に関する質問・回答、面接審査の進め方について説明。</p> <p>応募団体について応募資格の欠格事項に該当していない調査結果を報告。</p> <p>(委員長) 最低基準については各委員の採点結果の合計が満点の6割以上であることを再確認。</p> <p>(委 員) 異議なし。</p> <p>【応募団体:西区区民利用施設協会・相鉄企業共同事業体】</p> <p>(団 体) プレゼンテーション。</p>

[質疑]

(委員) 地区センターと公会堂の一体管理のメリットをどう考えているか。

(団体) 地区センターの利用団体への講堂を使った発表の場の提供や、西地区センターまつりの規模の拡大、これらを通じた西区民の利用の拡大を図ることができる。

(委員) 共同事業体内及び協力企業との間での責任体制はどのように考えているか。

(団体) 代表団体である西区区民利用施設協会が全体の責任者となり、各団体の得意分野を生かした管理運営を行う。

(委員) 設備係員3名とは設備関係を担当する相鉄企業の職員のことか。

(団体) そのとおり。

(委員) 舞台関係で協力する企業の位置づけについて聞きたい。

(団体) 物品の調達や利用者向けの舞台装置操作研修の実施を依頼する。

(委員) 一体管理のメリットは他にあるか。

(団体) 館長職を1名配置とする。副館長以下の職員については混乱を避けるため、平成28年度は大幅な人員減は考えていない。事務室が一体化することにより効率化を図ることができる。

(委員) 利用満足度90%以上という目標について、現状と90%に設定した理由について聞きたい。

(団体) 地区センターでは年1回全利用者向けのアンケートを実施しており、その中で接遇の満足度について確認している。接遇の良さは継続利用につながる重要なものであり、90%以上を維持していかなければならないと考えている。

(委員) 稼働率の少ない茶室や料理室の改善策について聞きたい。

(団体) 茶室、料理室で自主事業を実施し、新たな団体利用につなげたい。また、他の部屋の代替として利用できるようにしている。

(委員) 運営の効率化について考えていることは何か。

(団体) 公会堂の修繕や点検を休館日に実施することによる稼働日数の増加、事務室の一体化による効率化を考えている。

(委員) サービスの向上について考えていることは何か。

(団体) 職員が業務に習熟するまでは職員数を大幅に減らさず、安定した運営を行うことを考えている。

**【応募団体：アクティオ株式会社】**

(団体) プレゼンテーション。

[質疑]

(委員) 上限額よりかなり低い指定管理料を提案しているが、それでも西地区セ

ンター及び西公会堂の指定管理を行いたい理由は何か。

- (団 体) 提案額については提供したいサービスに必要な費用を積み上げた上で、指定管理料の削減に繋がる取組を盛り込んだ結果の金額となっている。
- (委 員) 自主事業の定員の考え方などについて聞きたい。
- (団 体) 事業によって定員に届かなかったり、越えたりすることがある。人気の自主事業については拡大、不人気の自主事業については改善を行っている。提案内容の自主事業については他の施設で人気のあるものを集めている。
- (委 員) サービスの向上の予算はどこに計上しているか。
- (団 体) 予約ネットシステムの導入、無料 Wi-Fi サービスの導入、大型モニターの設置については事務費に計上している。
- (委 員) 公会堂の舞台設備保守については委託により行うのか。
- (団 体) ホール専門業者への委託を考えている。
- (委 員) 危機管理体制について聞きたい。
- (団 体) 120 の管理施設の「ヒヤリハット」事例を集約し各施設へ還元することによるリスクの未然防止、近隣施設間での人的応援体制の整備、東日本大震災時の帰宅困難者受け入れの経験の活用を行う。各施設においては事例ごとの対応マニュアルを整備し、訓練を行う。
- (委 員) 広報活動で効果的と考えるものは何か。
- (団 体) 家族や友達が誘い合って施設に来るようなイベントなどを開催してアピールしていきたい。
- (委 員) 2号会議室の床使用の変更や茶室の会議室利用の提案の背景について補足してほしい。
- (団 体) 稼働率の高い部屋の競争率の緩和を目的としている。
- (委 員) インターネットなどに親しみのない層への広報についてはどのように考えているか。
- (団 体) デジタルとアナログの両立が大事と考えている。回覧板など従来の広報活動についても継続していく。予約ネットシステムの導入のタイミングについても地区センター委員会等で利用者の意見を聞きながら検討していく。

(2) 指定候補者の選定について

	団体名	得点
1	アクティオ株式会社	510/725
2	西区区民利用施設協会・相鉄企業共同事業体	491/725

(委員長) アクティオ株式会社を指定候補者として、西区区民利用施設協会・相鉄企業共同事業体を次点候補者として選定する。

(委 員) 異議なし。

[講評：西区区民利用施設協会・相鉄企業共同事業体]

- ・応募団体の構成団体についていずれも財務状況に問題はない。
- ・施設の維持管理について共同事業体として相鉄企業が入ることは安心につながる。
- ・西地区センターの現指定管理者であり、安定的な管理運営が期待できる。
- ・自主事業について目新しさに欠ける。
- ・区内におけるスケールメリットや他施設との連携が見込める。
- ・西区らしさを理解した提案内容となっている。
- ・これまでの継続だけでなく、新しい取組・事業展開の提案がもっとほしい。

[講評：アクティオ株式会社]

- ・応募団体の財務状況に問題はない。
- ・運営の効率化などにより指定管理料の削減に大きく繋がっている。
- ・自主事業や2号会議室の改装など魅力的な提案がある。
- ・公会堂との一体管理によるメリットについての提案が見られない。
- ・人件費が大幅に削減されている中でサービスが維持できるか注意が必要。
- ・危機管理や地域とのつながりづくりにしっかり取り組んでほしい。
- ・施設の活性化に期待する。

## 2 藤棚地区センターについて

### (1) 面接審査について

(事務局) 公募状況(応募団体数：1)、公募に関する質問・回答、面接審査の進め方について説明。

応募団体について応募資格の欠格事項に該当していない調査結果を報告。

(委員長) 最低基準については各委員の採点結果の合計が満点の6割以上であることを再確認。

(委員) 異議なし。

**【応募団体：一般社団法人西区区民利用施設協会】**

(団体) プレゼンテーション。

[質疑]

(委員) 中高生の体育室の利用増加策を具体的に説明してほしい。

(団体) 団体利用枠を施設側で確保し、開放する。中高生の居場所づくりにもつながると考えている。来館時の案内やツイッターにより広報を行う。

(委員) 体育室の個人利用の割合について聞きたい。

(団体) 平成26年度では体育室の団体利用・個人利用を併せて3万3千人強の

利用があり、その内、約1万6千人が個人利用だった。

(委員) パパさん向けの自主事業の実施時間帯はどのように考えているのか。

(団体) 土日の午前中の開催を想定している。

(委員) 利用者会議やアンケートなどで集まった意見の反映や回答はどのように行っているのか。

(団体) 集まった意見については実現できることから対応している。アンケートへの回答については館内に掲示している。

(委員) 人件費の抑制策をとっている割に指定管理料提案額が変わらないのはなぜか。

(団体) 物価の上昇や最低賃金の値上げによる。

(委員) 利用促進策について現状などを補足してほしい。

(団体) 平成26年度では全体の稼働率が52.9%、料理室は10%、工芸室は62.7%となっている。年齢別では「一般男性」の利用が少なく、「一般女性」の2万2千人に対し、1万3千人となっている。夜間の利用率については、小会議室で午前が59.4%、午後①が70.4%、午後②が62.3%であるのに対し夜間は22.5%となっている。

料理室の利用促進については、料理室の存在を知らない層が多いので料理室のPRを行っていく。「一般男性」の利用促進については家族向けの事業を通じて施設に足を運ぶ機会を作っていく。

## (2) 指定候補者の選定について

	団体名	得点
1	一般社団法人西区区民利用施設協会	489/750

(委員長) 一般社団法人西区区民利用施設協会を指定候補者として選定する。

(委員) 異議なし。

### [講評]

- ・応募団体の財務状況に問題はない。
- ・施設連携の取組について期待できる。
- ・パパ向け事業については広報をしっかりと行って実現してほしい。
- ・ケアプラザと似た事業も多く、うまくタイアップできると良い。
- ・地域に根差した安定性のある施設運営が期待できる。
- ・一つ一つの事業の質の向上を心がけてほしい。
- ・自主事業については年齢だけでなく新しい視点での企画がほしい。
- ・限られた指定管理料の中でサービスを維持する工夫を行ってほしい。